

令和4年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	お茶の水女子大学	主な交流先	英国・オーストラリア
事 業 名	グローバルリーダー育成のための「女子大学発」実学型 EDI プログラム		
海 外 の 相 手 校	イーストアングリア大学、シドニー工科大学、セントメアリーズ大学、ブレスリア大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、ジェンダーの視点から EDI を目指すグローバル女性リーダーを育成する計画であり、数多くの女性リーダーを輩出してきた実績を持つ女子大学としての特性と適性を活かした点、他学にはない特徴があり先駆的である点、実学を目指している点、及び日本の喫緊の課題に応える点が高く評価できる。貴学がこれまで日本語で実施してきたリーダーシップ教育を英語化し、対象地域圏の新たな教育プログラムへと発展させるという計画は、当該地域に対する日本の大学教育の持つ優れた点を発信する意味からも魅力的であり、重要である。計画においては、参画する学生数が多く、幅広い科目を詳細まで検討して用意する等具体的であり、質の保証についても十分検討されている。貴学のこれまでの多様な海外大学との交流実績に基づいており、国際化に向けた戦略における本計画の位置づけと全学的推進体制は十分詳細まで検討されている点も評価できる。

一方で、グローバルリーダーの人材像が曖昧である点、EDI のテーマをより広く取り扱う内容の科目・カリキュラムが顕著でない点、海外からの男子学生は受け入れながら日本人男子学生に参加する機会がない点、エンプロイアビリティの取り組みでどのように企業にインパクトをもたらすかより明確にする必要性について懸念され、さらなる検討が望まれる。また、本計画では派遣より受入が中心となっているが、国内に対し長期的にどのような影響を与えていくのか、より明確にして事業を進めていただきたい。さらには、貴学がこれまで蓄積されてきた東アジアの大学との連携についても計画に盛り込むことで、より効果的な取組になることが期待できる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。また、本事業は、補助期間終了後は自立的に事業を継続することが前提とされていることから、継続的かつ発展的に質保証を伴った事業を展開されたい。